

令和7年度 2学期始業式

おはようございます。

夏休み中はとても暑かったですが、大きな事故や災害もなく、3つの色の車のお世話になることもなく、こうして皆さんの元気な姿を見ることができ、とても嬉しく思います。

今日から、三中という大きな船は、夏休みという港に別れを告げ、2名の職員と1名の生徒を新たにクルーとして迎え、生徒385名、職員43名、計428名で、2学期という長い航海を始めます。

この夏、中体連の県大会・関東大会・全国大会、吹奏楽コンクール、少年の主張東毛地区大会、館林市海外派遣、あるいは暑い中頑張った毎日の部活動、全学年朝行われていたスキルアップ学習など、様々な場面で活躍した人、思い出に残る出来事や新しいことに挑戦した人、楽しい時間を過ごした人、少し苦勞した人もいることでしょう。どんな経験も、これからの皆さんの成長に繋がる貴重な財産ですので、全て前向きにとらえ、前に進んでください。

さて、2学期という航海は、学校生活の中でも非常に重要な期間です。

そこで2学期の出発にあたり、船長として2つ伝えたいことがあります。

まず1つ目。「**自分是可以る**」と**信じる心**を持とう、です。「もっと勉強を頑張りたい」「部活動でうまくなりたい、勝ちたい」「音楽祭で金賞をとりたい」「修学旅行や職場体験、高原学校でたくさんよい思い出を作りたい」。どんな目標であっても、それを達成するためには、まず「自分な

らできる」と信じるのが大切です。

失敗を恐れず、気にせず、自信を持って一歩踏み出してみましょう。たとうまくいかなかったとしても、それは決して無駄ではありません。失敗から学び、次へと活かすことで、皆さんはさらに大きく成長できます。そして、何度でも挑戦し、最後に成功させればそれは失敗ではなくなるんです。

2つ目は、共に高め合う仲間との「**絆**」です。1年生は高原学校、2年生は職場体験、3年生は修学旅行、そして全学年で音楽祭が控えています。部活動では新人大会があります。クラスや学年、あるいは学年を超えた仲間と一緒に取り組む機会がたくさんあります。行事を通じて、仲間や先生との絆を深め、全力で楽しんでください。行事は人を多方面から観察できる絶好の機会です。自分の反対側だと思っていた人が、実は自分と同じ側だったと気付くことがあります。きっと、その行事を通して、自分の世界の向こう側がつかめ、自分をより成長する原動力となるでしょう。

一方、不安や悩みがある人は、一人で抱え込まないで、絆を信じて自分の心の内を誰かに話してみてください。逆に、もし、皆さんの周りに元気がない人がいたら、ぜひ積極的に声をかけてみてください。

結びに、生徒や先生たちの前向きに取り組む姿が、三中の雰囲気をもよりよく、そして大きな成果を出すことにつながるでしょう。皆さんが笑顔で前向きに、様々なことや人に感謝し尊重できる、充実した学校生活を送れるよう、私たちも一緒に取り組み、楽しかった・成長した・チーム三中・三中ファミリーでよかった、と生徒と先生たちが言える2学期にしていくことを船長として期待しています。さあ、皆さんの、三中の2学期を、全員の力で最高の学期にしていきましょう。終わります。